

祈りと祝福
2015年11月14日の
グルマーイとのサツァングの体験談

昨日、祈りと祝福のサツァングの最初の部分で、グルマーイは、このようなときに私たち皆がいかに平等に発言する機会を持っているかについて話しました。そこには高い低い、良い悪い、富者貧者などありません。私たちは皆、心の中で一つです。グルマーイがそう言ったとき、私は心の中の強いつながりの感覚と、このサツァングの中とその外に広がる世界の人たち皆への愛を体験しました。芯の部分で私たちは、愛と思いやりを分かち合い周りの世界を向上させる目的を持った一つの生きる存在であり、一つの人類だとわかりました。

そして私たちがチャンティングをし、世界に祝福をささげた後、グルマーイの要請を受けて、スワーミ・イーシュワラーナンダがバーバの祈りを読みました。その最後はこのようなものです。「兄弟愛、愛、そしてマインドの完全な安定が、常に世界に満ち渡りますように」。再び私は、究極的に私たちの人生で最も大切なことは、愛を培い分かち合うこと、そして、すべての人の心が向上し、平和を体験し、自分自身と周りの人たちがお互いに優しさと思いやりの精神のもとに一つになれるように最善を尽くすことなのだと体験し理解しました。

シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムのセーヴァイト

昨日、グルマーイが、世界に祝福を送る一つの方法は出会うすべての人にとって良い兆しとなることだと言ったとき、それは私に力強く響きました。私は、日中自分が否定的な気分であることがあること、そしてそのことが他の人たちとのやりとりに影響をもたらすことがあることに気づきました。

私の今の行動指針は、そのようなときに他の人に心を閉ざすのではなく、グルマーイの教えを実践に移し、私の最善を適切な方法で、それがたとえ心からの笑顔や優しい言葉などの単純なことでも、世界にささげることです。

グルマーイ、私たちが他者を、そして同様に自分自身を向上させる力があることを示してくださり、ありがとうございました。

シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムのセーヴァイト

私たちがバガヴァーン・ニッテャーナンダ・テンプルでチャンティングしていたとき、私はフランス全体が青い光で包まれているさまを心に思い浮かべました。その光はあらゆる方向に広がり始め、すぐに地球全体がその癒しと保護のエネルギーで包まれました。いくつか暗い点がありましたが、それらも洗い清められ、その美しい青い光で満たされました。そして、私たちがチャンティングを続けていると、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムから流れ出るマントラの復唱一つ一つが、波となって世界の隅々に届き、皆に平和を運んでいると感じました。

グルマーイ、私に祝福を与える力があることを教えてくださり、ありがとうございました。

シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムのセーヴァイト

私たちはグルマーイとバガヴァーン・ニッテャーナンダ・テンプルに集い、専心して世界に祝福を送りました。チャンティングの間、私は一人のシッダ・ヨーギが、世界の難局が解決されそうもないときに、実際にどのような違いを生み出せるのかがわかりました。

チャンティングしているとき、私は、光と恩恵のとてつもない力がテンプルの中のマントラの音から昇っていき、世界をすっぽりと守り包んでいくのを感じました。

シッダ・ヨーガ・スワーム

私は、「パサーヤダーン」の詩にとっても感謝しています。しばしば私は、世界に祝福をささげるためにこの神聖な祈りに助けを求めてきました。そこに戻るたびに、いつもそれが初めてののような感じがします。それらの言葉は心を鎮静させ強くする聖なる水のようなのです。

シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムのセーヴァイト

グルマーイの世界への愛と慈悲は、11月14日、ローワー・ロビーとテンプルではっきりと感じられました。外の鳴り響く風にグルマーイはハヌマーンを認め、そして私はその偉大な神の召し使いが、世界にすべての祝福を運ぶために私たちと共にいることを認識しました。

グルマーイは、すべての善良な人々が小さくても意義深い方法で毎瞬前に踏み出し、彼らの善良さと愛を周りの空間に満たし、それによって悪魔や敵がその空間——私たちのマインドも含めて——に入る余地を与えないことが絶対にできる、そしてしなければならないという信念を示しました。

私は、グルマーイが本当に私たちと共にいること、彼女の信奉者たち、あらゆる場所にいるすべての人たち、そしてすべての動物たちと私たちの美しい自然界と共にいると感ずることができました。そして私は、グルマーイ、私たちのジャガッドゥグル——世界のための大いなるグル——への感謝に満たされました。

私たちが「パサーヤダーン」を歌い、マントラをチャンティングすることでエネルギーを集めると、グルマーイはアーラティーのために立つことを皆に呼び掛けました。彼女は、でんでん太鼓を振ったりドラムをたたいたりする音は、否定的なエネルギーを追い払うと説明しました。アーラティーが高まると、グルマーイは力強くリズムカルに手をたたき始めました。

私たちが黄金の祈りと祝福を世界にささげたとき、グルマーイの信念、慈愛、力、そして謙虚さが、皆の中にその同じ資質を呼び起こしているのだと感じました。

シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムのセーヴァイト

昨夜寝る前に、私は自分の祈りと瞑想をパリで悲劇に遭遇したすべての人にささげました。その夜、私は頭上の青い空を見つめている夢を見ました。私は、マインドの焦点を定め安定させれば、日の光の中であるにもかかわらず、星を見ることができるだろうとわかりました。思った通り、私がマインドを静めると、それまで見えなかったすべての星が現れ、明るい日の光の中で輝き瞬いていました。目を覚ましたとき、私はこの夢の意味は何だろうと考えました。

翌朝、祈りと祝福のサツァングで、グルマーイはバーバ・ムクターナンダが書いた「アーラティー」の一節について触れました。「兄弟愛、愛、そしてマインドの完全な安定が、常に世界に満ち渡りますように」。グルマーイは、マインドの完全な安定を培うことは私たちの義務であり、それによって私たちは世界に最善のものをささげるために前に踏み出すことができると教えました。

彼女の言葉を熟考していると、私はグルマーイの教えと、マインドが安定したときに日の光の中で星が輝いた私の夢とのつながりがわかりました。私は、自分のマインドを安定させる修行を通して、神聖さの光があらゆるところでもっと目に見えるようになることを理解しました。そして安定したマインドを通して、私は光と善良さを世界と分かち合う能力を増していくのです。

グルマーイ、この教えをありがとうございました！

シッダ・ヨーガ・スワーム

今朝、世界全体に私たちの祈りと祝福を送るためのグルマーイとのサツァングのための準備で、私は、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムを母親と訪れている子どもを含めた何人かのセーヴァイトの一員として、天災であれ人為的なものであれ世界中で起こっているさまざまな悲劇に見舞われたすべての人々への祈りを分かち合うために集いました。

私たちはそれぞれ、どのようにして人や動物たちが内側や外側で支えを受けているかを象徴する力強いイメージを持っていました。それはたとえば、マントラに満ちた純粹な善良さの光が、宇宙の隅々の生き物にまで届いているといったものでした。その集まりにいた9歳の女の子は、彼女がどのように神に祝福を送っていたか、そしてその祝福を神が必要な人すべてに向けるであろうということについて話しました。彼女は素晴らしい確信と明るさを持って言ったのです。私は、シッダ・ヨーガの道で子どもたちが、自分たちの祈りや祝福が世界に受け止められ貢献していくことを明確に知りながら育っている様子に深く感動し感謝しました。

私は心を込めて、グルマーイがあらゆる探究者に、それが誰であろうとどこにしようと、私たち一人一人にこの世界で、そしてこの世界のために貢献する力があることを教えてくださったことに感謝します。

シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムのセーヴァイト

今朝のサツァングでのグルマーイの話、そしてフランスから来たセーヴァイトたちからの話の後で、私たちはバガヴァーン・ニッテャーナンダ・ temple に移って、チャンティングをして祈りと祝福をささげました。

私たちが temple に入っていくと、バデ・バーバは金と赤のケープをまとい、茎の長い赤と黄色の小さなランの花であふれている花瓶に囲まれて、輝いて見えました。あるミュージシャンが、トゥルシーダスが作った神の保護を祈る、「ラグヴァラ・テュマコー・メーリ・ラージ」というバジャンをチャンティングしていました。

私たちは「パサーヤダーン」のチャンティングから始めました。その後、「オーム・ナマー・シヴァーヤ」をダルバリ・ラーガでチャンティングしました。このチャンティングはいかにも甘美で、深く強力で、私の心の中にある祝福が世界に流れていくように感じました。

チャンティングの後で、全員が立ってアーラティーを歌いました。アーラティーの後で5人のプージャーリーが、ダマルというでんでん太鼓のような小さな2面の太鼓の打音に合わせて、一人ずつアーラティーのランプを揺らしました。次のプージャーリーがお盆を揺らす番になると、前のプージャーリーは横に退き、このようにしてプージャーリーは次々とバデ・バーバにアーラティーのランプを揺らしました。大きなアーラティーの太鼓が打ち鳴らされまだ皆が立っている最中に、私たちは打音に合わせて手をたたき始めました。グルマーイが前に進み出て、新しいランプを取ってバデ・バーバの前で揺らしました。私は恩恵と祝福の炎が temple を満たしているのを感じました。

スワーム・イーシュワラーナンダが、次のような言葉で終わるバーバの祈りを読み上げました。「兄弟愛、愛、そしてマインドの完全な安定が、常に世界に満ち渡りますように」

グルマーイは、私たちが日ごとに培わなくてはならない完全に安定したマインドについて話をしました。世界が団結すると、そこには勇気があります。私たちは、ささや

かな事柄を善意を持って行い、他の人々への「良い兆し」となって前進しなくてはなりません。私たちの祈り、ほほ笑み、善意を世界に広げることにより、良い兆しになることは、私たちの責任であると理解しました。

シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムのセーヴァイト

11月14日の朝に行われたサツァングで、グルマーイはトゥルシーダスが作ったバジャンの翻訳を読み上げさせました。

「神よ、あなたは無力な者の保護者です。

私の栄光はあなたの手中にあるのです」

彼女は、このバジャンが2000年に演じられた劇、「ゴールデン・テールズ（黄金の物語）」の中で歌われたことを私たちに思い出させました。それはシュリー・ムクターナンダ・アーシュラムを訪れていた子どもたちによって演じられた、聖人たちの人生を幾つかの劇にしたものでした。

最近起こった世界的な出来事を背景において、このバジャンと子どもたちが演じた劇のイメージには、とても胸を打つものがありました。私はこのサツァングの初めに、グルマーイが世界の美しさ、特に私たちの子どもたちの美しさについて話し、それはパリで起こった惨事を引き起こした力に対抗する力であると言ったときにも、その痛烈さを既に感じていました。地球はこのような苦痛をもたらす暗愚な考えに対して、あまりにも美しく、そして私たちの子どもたちはこの世界の美しさの中で歌ったり踊ったりすることができる必要があるのです、と彼女は言いました。

私にとってその美しさは、最近世界に起こった出来事の暗闇に差し込む力強い光のように、そのサツァングの中に現れていました。

シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムのセーヴァイト

今朝の祈りと祝福のサツァングで、グルマーイは精神の道に専心している一人のサーダカの質問に答えて、パリで起こった状況について話しました。彼女は、強くなって助けを必要とする人々を援助することが、私たちのサーダナーであると強調しました。この援助には、祈りや祝福、チャンティングや意図、そして私たちにできる実用的なことも含まれています。

参加者の幾人かは、パリでは人々が襲撃で混乱を来し道路をさまよい歩いているような人たちのために、門戸を開け放っていると話しました。同じようにニューヨークでは、飛行が中止されて帰国できないフランス人たちを家に泊めているそうです。他の人を助けるにはさまざまな方法があります。お互いが攻撃されやすく危険にさらされていることを認識することで、それは自然に行われるのです。

シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムのセーヴァイト

祈りと祝福のサツァングで、グルマーイは私たちに、安定したマインドを培いなさいと励ましています。私は、グルマーイが他の人々への「良い兆し」になる方法を見せているのだと理解しました。安定したマインドがあって初めて、本当に意識しながら人の言葉に耳を傾けられるのです。安定したマインドがあって初めて、本当に親切で、強く、愛を持って人々を支えられるのです。私の心は感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます、グルマーイ。

シッダ・ヨーガ・スワーム

祈りと祝福のサツァングでグルマーイからの多くの美しい教えを聞いた後、テンプルでのチャンティングとドラムの響きは、私の全身全霊に鳴り響きました。私のマインドに最も深く残った一言は、「良い兆しになりなさい」でした。私は何回かそれを聞きました。それは現在の私への、グルの命令の神髄であると感じました。

私がその意味について熟考すると、この言葉はその日に聞いたすべての教えとつながっているのです。私のサーダナーが、出会うすべての人に、そして究極的には人類に本当に影響を与えるのだと確信しました。私がどこにしようと、どのような方法でも、会う人すべてに、そして全人類に祝福を運ぶことは、聖なる使命であると理解しました。もし私がこの気づきを日常生活の中で保っていれば、グルの恩恵が吹き込まれた祈りの力が人類を高めることを、決して疑うことはないでしょう。

グルマーイ、私の人生に新鮮な新しい意味を与えてくださり、ありがとうございました。

アメリカ、ニューヨークのシッダ・ヨーギ

11月14日の祈りと祝福のサツァングで、グルマーイが話した他の人にとって良い兆しでありなさいという言葉が、私の好奇心をとてそそりました。良い兆しであるとはどういう意味なのか、私は知る必要がありました。

今朝、私はオンラインで次のような定義を見つけました。「兆しとは、将来を予告し、また、しばしば変化が起こる前触れと信じられている現象である。古代の人々は、兆しとは神からの神聖なるメッセージだと信じていた」。そしてその例として、時には虹が兆しとして考えられていたと図解されてありました。

グルマーイが、私たちの単純な日常の振る舞いとほほ笑みを通して、神からの生きたメッセージになりなさい、善への希望と変化のメッセージになりなさいと促しているのだと感じました。

シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムのセーヴァイト

祈りと祝福のサツァングでグルマーイは、世界の争いが持続するのは双方が謙虚さを持たないからだと話しました。彼女は前の日に起こった悲惨な出来事について話しているようでしたが、私はこの教えがいかにかに人との、そして内面的な生活におけるあらゆるレベルのやりとりにさえも当てはまるものかを考えました。

私たちは、私たち皆が大いなる自己の現れであるということを忘れ、その謙虚さの欠乏やもろもろのエゴから争いが生まれ、持続されます。

私たちの考え、確信、意見は神聖なる大いなる自己からの贈り物であり、人類を向上させるために使われるべきものであり、絶対に他者を傷つけるものではないのだと理解するようになりました。

シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムのセーヴァイト

私たち全員が利己心を捨てて、すべてのものの良いことに焦点を当てることを促すグルマーイの招きに、私はとても心を打たれました。グルマーイは、自分自身のためには泣かず、もし涙をこぼすのなら人類のために泣きなさいと言いました。彼女は、朝ごはんを食べられなかったからとか、あなたは良い仕事をしなかったと誰かが言ったからと泣くことはありません、私たちの涙をこのようなもので無駄にするべきではありません、と言いました。グルマーイは小さな自己を捨てて前進し、より高い自己を認めなさいと、私を促しているように感じました。

時間やエネルギーを無駄にして限界ある自己と争う代わりに、私は他の人々のために何か良いことをすることに焦点を合わせることができます。それには安定したマインドが必要です。自分をけなしたり苦情を言う道に落ちていかないように、マインドに注意を払っていかなくてはなりません。私はマインドをより高い目的に向かわせる規律を実践するように奮起させられました。私は一つ一つの呼気と吸気に合わせて祝福を送るというイメージがとても好きです。

グルマーイ、あなたの恩恵と教えに感謝します。

シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムのセーヴァイト